

履 歷 書

名城大学

フリガナ 氏 名	男・女	生年月日 (年齢)	昭和 年 月 日生 (満 歳)	写 真 (3 cm × 4 cm)
現住所	〒			
連絡先	住所：			
	電話番号：	携帯電話：		
Email：				
学 歴 (高校から記入)				
年 月 (和暦)	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
博士号取得 年 月				
職 歴				
年 月 (和暦)	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
学会および社会における活動等				
所属学会				
年 月 (和暦)	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				

【記入上の注意事項】

電話番号およびEメールアドレスは確実に連絡がつく先をご記入下さい。
写真は裏面にお名前をお書きいただいてから貼付してください。

現在に至る生涯履歴を全て記入してください。

- ・博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得後退学」と記入。
- ・大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入。
- ・学位、称号の他、弁護士、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても「学歴」欄に記入。この場合、登録番号も付記。
- ・外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容について併記。
- ・外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入。

現在に至る生涯履歴を全て記入してください。

- ・職名、地位等についても明記。なお、過去における大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む。）の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名（大学院にあつては、判定結果（合・合・可））を記入。
- ・「職歴」は、各職歴について、在職期間が明確になるように記入。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記。
- ・自営業、主婦、無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入。
- ・大学の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記。
- ・担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入。（例 看護学科の教員で看護師経歴のある者の当該看護師時の勤務病棟等）
- ・平成19年4月の新教員組織への移行に伴う対応は、左記または以下のように記入。

《事例》

平成19年4月	名城大学〇〇学部〇〇学科准教授 (科目名: 〇〇〇〇)	(現在に至る)
平成19年4月	名城大学〇〇学部〇〇学科助教 (科目名: 〇〇〇〇)	(現在に至る)
平成19年4月	名城大学〇〇学部〇〇学科講師 (科目名: 〇〇〇〇)	(現在に至る)
平成19年4月	名城大学〇〇学部〇〇学科助手 (科目名: 〇〇〇〇)	(現在に至る)

現在に至る生涯履歴を全て記入してください。

- ・「学会および社会における活動等」は、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入。なお、所属学会名は正確に記入。
- ・健康・スポーツ科学に応募する場合は、競技歴・指導歴等についても記入。

過去5年間の状況を記入してください。

- ・公開講座・講演会等の講師(学内外を問わず)、出前講義等の生涯学習、高大連携事業、サイエンス・パートナーシップ・プログラム、スーパーサイエンス・ハイスクールの講師等の小学校・中学校・高等学校への学習支援事業について記入。
- ・国際協力事業への参画や外国人研究者の受入れ、技術支援・コンサルテーションの状況や共同開発によるパテント取得等について記入。

資 格 ・ 免 許				
年 月 (和暦)	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
賞 罰				
年 月 (和暦)	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
職 務 の 状 況				
勤 務 先	職 名	学部, 学科等 (所属部局) の名称	担当授業科目名	備 考
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 ㊟</p>				

【記入上の注意事項】

現在に至る生涯履歴を全て記入してください。

- ・ 学歴欄に記載されている資格は必ず記載。(学位についても同様。)

- ・ 担当する教育研究の内容に関するもの等について記入。

国家資格・免許の取得状況

弁護士, 医師, 歯科医師, 薬剤師, 看護婦, 教員等 (登録番号も付記)

外国における資格については正確に記入するとともに, その資格の内容について併記

ない場合は, 「なし」と記入してください。

今年度の状況を記入してください。

教育研究業績書

名城大学

平成 年 月 日

氏名



教育上の能力に関する事項	年	概要
1 教育方法の実践例 (教育内容・教育方法面の取組) (成績評価での取組) (学習に対する支援)		
2 作成した教科書, 教材		
3 教育上の能力に関する大学等からの評価		
4 教育の質の向上及び改善のための取組		
5 大学院教育への取組		
6 その他		

【記入上の注意事項】

担当授業科目に関連する教育上の能力に関する事項及び職務上の実績に関する事項を年月日順（過去→現在）に簡潔に記入してください。

現在に至る状況を記入してください。

・学部, 大学院における実践例に係る以下の取組みについて記入。

(教育内容・教育方法面の取組)

- 1) 学生が理解するための努力（授業の工夫, 教材開発）
- 2) 新しい事例研究への取組み
- 3) 学外授業の実施状況
- 4) 卒業論文等の指導, ゼミ合宿等の実施状況
- 5) シラバスに沿うテキストの作成状況, 教科書以外の教材利用

【1）～5）に対応する代表的な事例例】

演習・実習の効果的な活用, 体験型学習の導入, ディベート・ディスカッション・プレゼンテーションの導入
学生の授業評価の活用とそのフィードバック, その他, 教育効果を高めるための取組み

(成績評価での取組)

- 1) 成績評価方法や評価基準の学生に対する周知状況
- 2) 多様な成績評価の導入状況（レポートや小テストの活用状況およびその機能状況）
- 3) 合理的な成績評価基準の設定

【1）～3）に対応する代表的な事例例】

課題・レポートの活用（効果的な題材, 評価方法等, 工夫点について）, シラバスの活用

(学習に対する支援)

- 1) シラバス等による指示の実施状況（予習・参考文献）
- 2) オフィスアワーの実施状況, 学生の利用状況

【1）～2）に対応する代表的な事例例】

シラバスの活用, 学生の授業外における学習促進のための取組み

現在に至る状況を記入してください。

・学部, 大学院における実績について記入。

・作成した教科書, 教材, 講義で教科書として使用している著書, 教材等の概要
(後の「著書, 学術論文」との重複も可。その場合, 「(再掲)」と表示)

現在に至る状況を記入してください。

・学部, 大学院における評価の状況について記入。

・自己点検・評価の一環として, 教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
・学生による授業評価, 教員同士の相互評価等をまとめたもの
・学外の評価機関等が行った評価
・上記以外で学内諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記載）等

現在に至る状況を記入してください。

・学部, 大学院における取組状況について記入。

独自の授業に関するアンケートの実施状況
授業評価アンケート結果を分析し, それをもとに授業改善に活用した点
FD講演会, 授業参観, 組織的な取組の中での役割等のFD活動の取組状況
教育改善に関する著書, 学術論文, 研究報告, 講演発表など
(後の「著書, 学術論文」との重複も可。その場合は「(再掲)」と表示する。)

現在に至る状況を記入してください。

・大学院における取組状況について記入。

指導学生数（修士課程・博士後期課程別）, 主査・副査の件数（修士課程・博士後期課程別）
研究指導テーマ（修士課程・博士後期課程別）, 大学院生による研究発表支援（学会発表等）
その他, 大学院教育等の取組状況

学部, 大学院における実績について記入してください。

・学部等独自に設定する評価項目
・これまで記載してきた全ての事項以外の各教員の教育活動実績
・教育活動実績として, 強くアピールしたい内容に関するコメント
・教育活動に係る実績の中間成果及びその進捗状況 など

(氏名)

研究業績に関する事項				
著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
著書 (1)				
著書 (2)				
著書 (3)				
学術論文 (1)				
学術論文 (2)				
学術論文 (3)				
その他 (1)				
その他 (2)				

特許に関する事項		
発明の名称	出願又は取得年月日	概要

【記入上の注意事項】

現在に至る生涯履歴を記入してください。

(実務家教員については、この限りではありません)

①「著書, 学術論文等の名称」は、著書, 学術論文及びその他の順に適切に区分し, それぞれ年月日順(過去→現在)に, 番号を付して記入してください。特に, 複数のレフェリーのある論文はその旨を明記してください。なお, 年月の表記は, 年号・西暦のいずれかに統一してください。

②「概要」には、著書, 学術論文等の概要及び頁数について、各著書, 学術論文等ごとに**明確かつ簡潔に記入**してください。なお、共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁(例 P〇〇~P〇〇)を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書, 学術論文等に記載された順に記入してください。著作者氏名列挙の際は、本人氏名にアンダーラインを付してください。

③共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。(例 共同研究につき本人担当部分抽出不可能)

④また、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。

⑤一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理してください。

⑥学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。

⑦発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。

⑧「作曲」に係る業績については、出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載(再演は不要)してください。

⑨著書・学術論文等は発行済みの業績のみ対象。掲載予定のもの、プログラム等に掲載済みのものでも、未発表である場合は記載しないでください。

⑩外国語で記述された業績であっても、概要は日本語(又は日本語併記)で記入してください。

⑪共著者があまりにも多数の場合、本人を含めた代表的な人を最低10名程度は記載し、残りは「ほか~名」と記入してください。

現在に至る生涯履歴を全て記入してください。

・担当する教育研究の内容に関するもの等について記入。

特許, 工業所有権等の取得状況

特許, 工業所有権等の登録名称, 登録番号, 概要を記入。

現在, 特許申請中のものについては, 申請状況を記載。

(氏名)

過去10年間の研究活動状況に関する事項				
外部資金の獲得状況				
研究課題名	資金種別	金額(円)	期間	代表・分担の別
(1)				
(2)				
(3)				
共同研究の実績				
研究課題名	機関名		期間	
(1)				
(2)				
(3)				

【記入上の注意事項】

現在に至る状況を記入してください。

- ・年月日順（過去→現在）に，番号を付して記入してください。
- ・研究内容ごとに，外部資金の獲得状況を記入してください。

現在に至る状況を記入してください。

- ・年月日順（過去→現在）に，番号を付して記入してください。
- ・他研究機関（産・官・学，海外を含む）との共同研究の実績を記入してください。